



# リモデル事例シート

車椅子でも介助が安心、水廻り空間のローコストバリアフリー



イー・ライフ・グループ (株)

## リモデル前のお施主様のお悩み・ご要望 Before

脳出血により右上下肢に麻痺の後遺症が残り車いす生活になった60代の専業主婦の妻。妻の病気を機に身の回りの事や介護、家事は夫が行う事になった。突然主婦であった妻の介護を行うことになり、排泄を含む水廻りでの車いす介助に不安を感じたため、「介護がしやすい水廻り空間に改修し、出来る限り介護負担を軽減したい。」と施主である夫がリフォームを依頼されました。

### お悩みの理由とその解決方法

妻が車いす生活になり、今後排泄・入浴といった水廻りでの介助に不安を感じたため、夫でも負担無く、簡単に介助出来る水廻り空間に改修し、本人も家族や介助者に気負い無く介護が受けられるようにしたいご要望があった。またご本人、ご家族、担当PT・OT、ケアマネージャー、弊社一級建築士といったお施主様に関わる「専門家」と意見交換を交わし設計・改修計画や細かい配慮を行った。



## リモデル後のお施主様の声 After

### 生活スタイルの変化

脳出血により主婦であった妻が車いす生活になり、身の回りのことや介護、家事は夫が行うことになり今までの生活が突然一転した。妻の介護を行うことになり、排泄を含む水廻りでの車いす介助に不安であったが、「介護がしやすい水廻り空間になり、最大限介護負担が軽減出来るようになった。」今回の改修は突然の「生活スタイルの変化」に対し「介護し易い水廻り機能向上への変化」になった。

### リモデルしてスマイルになったこと

主婦であった妻が介護になり家族会議を行った結果、生活全般は勿論、効果的な改修を行い入浴・排泄も自宅で家族の介助で行っていく覚悟を決めたものの不安は大きかった。今回の改修により、思っていたより介護の負担が少なく介護するご主人も安心出来た。本人の意欲低下があったが、各所・各動作が簡単・容易に行えるようになり、まだまだリハビリをして頑張れると思うことが出来たため大変満足しています。これで介護負担が軽減出来ることで、家事といった主夫業も楽しく出来るようになった。

設計コンセプト

タイトル

車椅子でも介助が安心、水廻り空間のローコストバリアフリー

提案内容

障害のある人にとって最も困難な日常生活動作は、排泄・入浴動作である。また介助者にとって最も難関な介助動作でもある。

60歳代の妻が脳出血により車いす生活になり、介助者や障害が残ったご本人にとって最も難関な介助動作である水廻り空間を改修することは必須であった。特にプライバシーを重要視した水廻り空間は、車いす使用者にとって極めて使いにくくなっており生活上のストレスが溜まりやすいのが現状である。

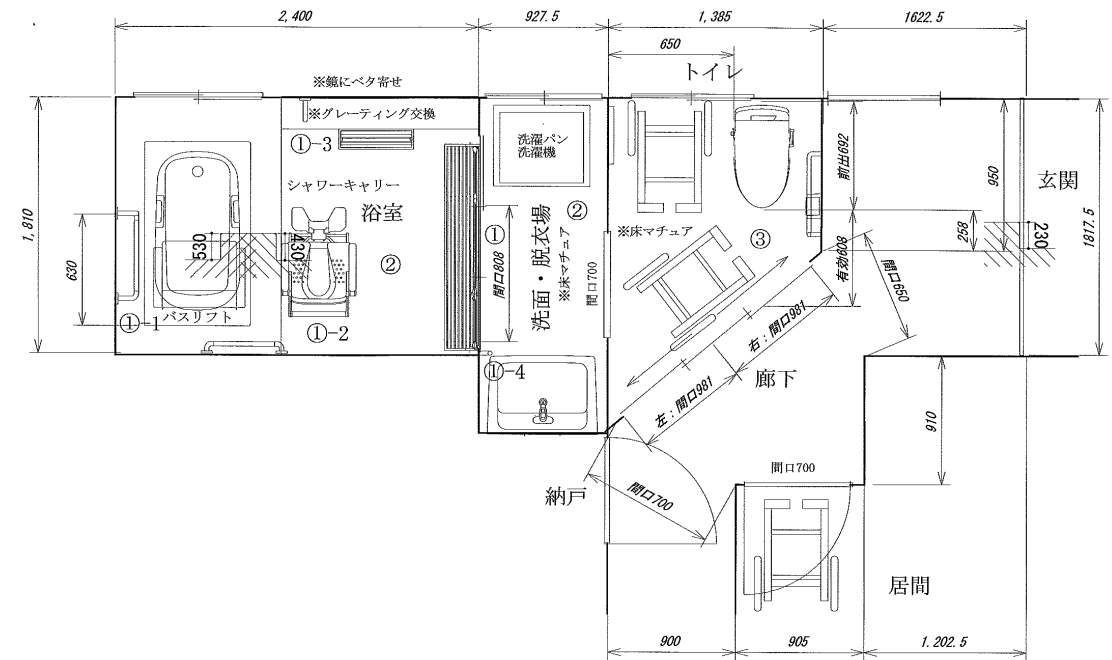
介助する夫が、車いすを操作しながら、排泄・入浴介助を負担無く出来るようするために、大規模な解体・改修を行えば「楽な車いすでの動線」確保も可能であるが、構造上による制約と予算の制約がある中で「既存の限られた空間・予算内での効果的な改修効果」をコンセプトに設計・改修計画を行った。既存の水廻り機器をコンパクトで機能的なものへ交換、動線上の建具の有効幅が大きく機能的なものへ交換することで、限られたスペース及び配管等の制限もクリアーし、介助での車いす移動・動作も簡単に行えることが実現した。プランニングは病院での経験や自宅での経験を活かしながら、様々な専門家と連携し設計・改修計画を行った。

特に排泄時の移動・移乗動作を容易に行なえるようにしたこと、床材に抗菌剤が入った耐久性の高い重歩行用シートを採用したことで車いすの性能を引き出し、掃除も容易に行なえる配慮を行った。浴室では妻の年齢が若いこともあり、あえてプロのヘルパー等に頼らず、浴槽に入るためにバスリフトを利用し、夫でも負担無く介助が行えるようにした。さらに、便器についてもトイレスペースにゆとりが出来るようタンクレスに交換、「介助による便器への移乗動作」、また今後の目標である「自立での便座への移乗」が行えるよう車いすで便器へ向かい前から・横から・斜めからといった多方向からのアプローチが可能となり、介助→自立へと変化に対応可能な配慮を行ない、コスト面でもローコストなレベルに収めることが出来た。

設計コンセプトである「ご本人は勿論、家族や介助者の負担も軽減させたい」、「将来の生活スタイルに対応可能なローコストプラン」、「行動・移動範囲を維持し、生活の質の向上を図る」、「家族に気負い無く、在宅生活に自信を持てる」ということを守りながらすすめていった改修事例である。

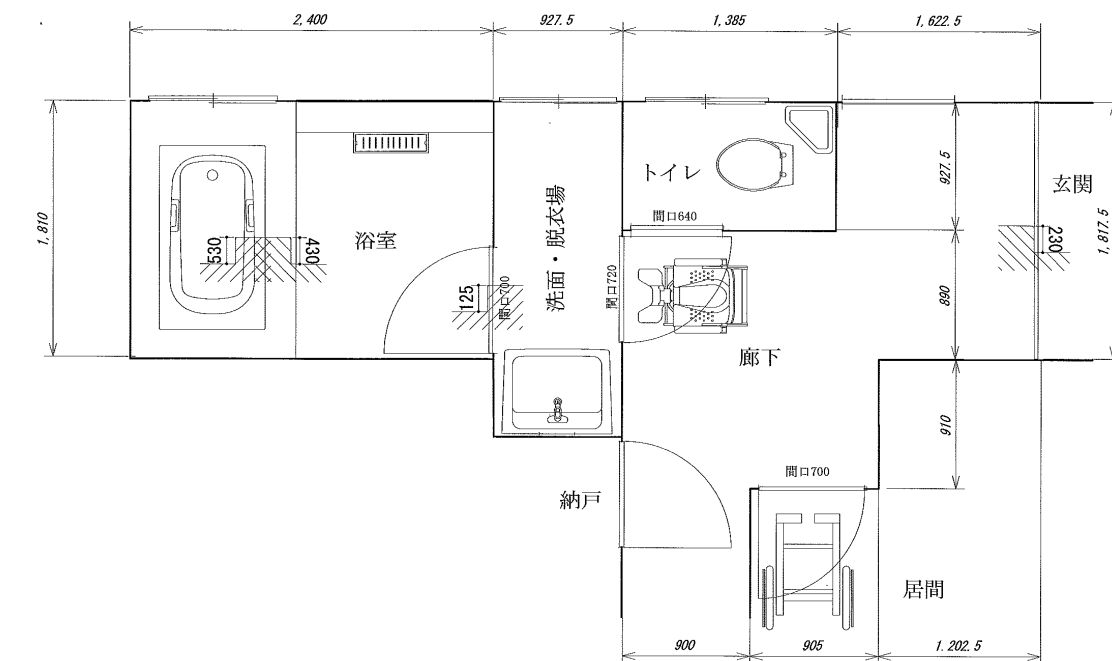
After

リモデル後の図面



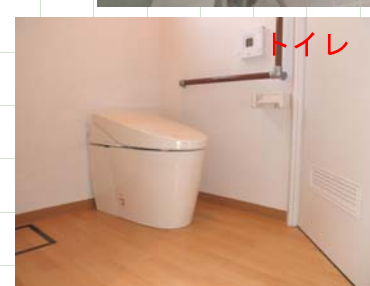
Before

リモデル前の図面



After

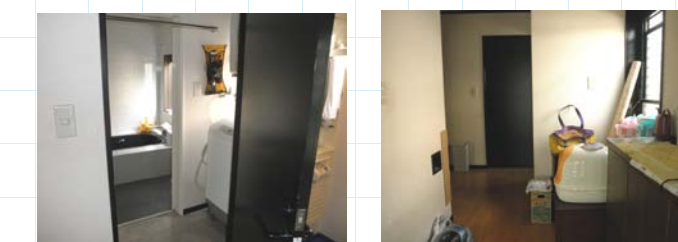
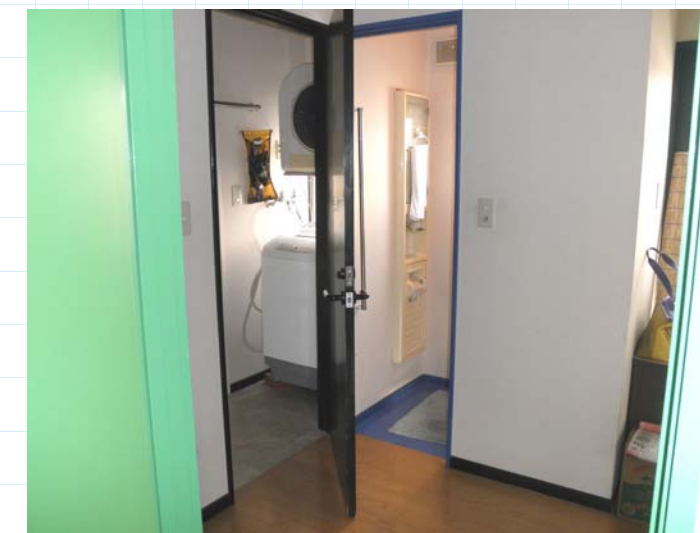
リモデル後の写真



写真の説明

構造上の制約があり、個々に独立していた水廻りは、トイレ空間を廊下側に斜めに拡張し概ね一つ空間にまとめた。トイレは介助・自立のどちらでも対応出来るよう左右どちらでも引け、有効開口も981mm取れるDaikenの3枚連動引き戸を採用した。便器はTOTOネオレストに交換したことで、車いすでの移乗・移動動作時のゆとりが出来た。床はノンスリップシートを採用し車椅子の移動・操作の円滑化を助ける。浴室ドアはTOTO 3枚引き戸へ交換(間口を808mm)、浴室内部段差はTOTO樹脂製グレーチングを採用しフラットにすることで、入浴用車いすでの移動が円滑に行えるようになった。浴槽への出入りはTOTOバスリフトを採用し、介護のPDでは無い夫でも負担無く安全・容易に介助が行えるようになった。

リモデル前の写真



写真の説明

車いすですぐにトイレ・浴室といった水廻りにアプローチする際、現在のトイレのドアの間口やスペース、便器の向きなどでは介助が困難である。また浴室の間口や洗い場段差などの問題も含めて入浴介助をするには環境が整って無く不安が大きい。

## 物件詳細

お施主様名 (イニシャル)	中原様邸 (N)		お施主様データ	女 年齢: 60才~69才						
お施主様の 家族構成	続柄	本人	続柄	夫	続柄	長男	続柄	次男	続柄	
	年齢:	60 歳代	年齢:	60 歳代	年齢:	30 歳代	年齢:	30 歳代	年齢:	歳代
	続柄		続柄		続柄		合計		4名	
	年齢:	歳代	年齢:	歳代	年齢:	歳代				
住宅形態	戸建住宅				築年数	35年				
リモデル面積	9 m <sup>2</sup> → 9 m <sup>2</sup>		リモデル日数	全体( 14 日)(内対象部位 14 日)						
リモデル費用	総額( 213 万円)		(内対象部位		213 万円)					

## 使用商品

空間	バリアフリー&ユニバーサルデザイン			
部位	メーカー	品名		カラー
		シリーズ	品番	
設備	TOTO TOTO TOTO	ネオレストA1 バスリフト 樹脂グレーティング	CES9784#SC1 EWB103S EWB622P	パステルアイボリー
建具 サッシ	Daiken TOTO	3枚連動引戸 段差解消3枚引戸	ZYE08-12WHFNA EWBS601R	ネオホワイト
床	東リ	マチュア		
壁・天井	東リ	VS		



GREEN  
REMODEL

イー・ライフ・グループ (株)

担当:富岡直人